

任意予防接種について

種類の異なるワクチンの受け方(R2.10より変更)
【生ワクチン】→【生ワクチン】接種後
27日以上あける

お誕生日
年 月 日

※ 予防接種の分類は、2022年4月1日現在のものです。

月齢ごとの日付をいれましょう

下呂市版

定期の推奨接種開始時期
接種可能な期間（国が決めている接種可能期間）

1 予防接種の種類	2 どんな病気？	3 ワクチンの効果は？	ワクチンの種類	4 受け方 計画は、かかりつけ医と 相談しましょう。	月齢ごとの日付をいれましょう												定期の推奨接種開始時期 接種可能な期間（国が決めている接種可能期間）								
					回数	効果的な接種時期と間隔	1 か 月	2 か 月	3 か 月	4 か 月	5 か 月	6 か 月	7 か 月	8 か 月	9 か 月	10 か 月	11 か 月	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	
任意 予防 接種	<p>助成あり</p> <p>おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)</p> <p>5000円の助成 (1回のみ)</p>	<p>おたふくかぜウイルスによるもので、両方またはどちらかの耳下腺ははれてくる。かかっても軽症の場合が多いが、重い合併症を起こすことも多い。無菌性髄膜炎が50人に1人の割合で起こる。1000人に1人の割合で重度の難聴が起こる。</p>	生	<p>1歳で1回 就学前年度に2回目の接種を推奨</p>	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	/	/	/	/	/	/	1回目(年 月 日)	追加(年 月 日)
	<p>助成あり</p> <p>インフルエンザ</p> <p>2700円の助成 1~2回分助成</p>	<p>インフルエンザウイルスによっておこる呼吸器の感染症で、初冬から春先に流行する。ほとんどが自然に治るが、肺炎、気管支炎、仮性クroup(声を出す喉頭が炎症をおこしてはれる病気)などの呼吸器の病気や脳炎、脳症を起こして重症化することもある。日本の子どもの脳炎の最大の原因で、毎年200~500人が脳炎になっている。熱が出てから約2日の間におこりやすくなる。</p>	不活化	<p>13歳未満は、2~4週の間隔で2回接種 (効果を高めるためには4週で接種するのが望ましい) 13歳以上は1回接種 接種時期は、流行時期に備え、10月~12月頃に接種 遅くとも12月中旬に接種完了が望ましい</p>	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	13歳未満の場合	1	2	1回目(年 月 日)	2回目(年 月 日)	2~4週以上	13歳以上の場合は	1	

下呂市では、1歳~4歳未満のお子さんに対して1回分の接種費用を助成しています。

下呂市では、13歳未満のお子さんに対しては2回分、13歳以上のお子さんについては1回分の接種費用を助成しています。

参考文献: 予防接種ガイドライン・予防接種とこどもの健康
予防接種に関するQ&A集

助成あり

下呂市では、子育て支援策の一環で予防接種料金の一部助成を行っています。左のマークがあるものが、助成の対象となる予防接種です。

この事業による予防接種は、法律に義務づけられたものではなく接種者の希望によるものです。

接種を希望される方はこの事業を活用し計画的に接種しましょう。

ただし、下呂市に住民票のある方が市内の医療機関で接種する場合があります。

詳しくは、ホームページが各保健センターにお問い合わせください。



【予防接種に関する相談・お問い合わせ先】

◎萩原保健センター ☎ 52-1230